

しののめ

第42号

発行者 医療法人聖仁会森病院
発行責任者 管理者 森 久恒
発行日 平成 26年 1月 15日

迎春



今年も皆様にとって良い年になります様に

医療法人 聖仁会 森 病院 の理念

良質かつ適切で効率的な医療と介護を提供し、社会に貢献すること

基本方針

- ・ 私たちは、私たち自身がそうして欲しいと思うような、優しく温もりのある介護と質の高い医療を目指します。
- ・ 私たちは、患者様の健康と生命を守ることを第一に考え、患者様のお役に立てるよう努力します。
- ・ 私たちは、命ある限り QOL(生活の質)の向上を迫及するべきと考え、リハビリテーションを重視します。
- ・ 私たちは、行政や地域の医療福祉施設との連携を密にし、患者様の状況に応じたサービスの提供を目指します。
- ・ 私たちは、経営の健全化に努め、地域に望まれる医療機関として活動し続けることを目指します。
- ・ 私たちは、一人一人が社会の人的資源であることを理解し、自らの能力向上のため自己研鑽に努めます。
- ・ 私たちは、患者様の権利を尊重します。

麻薬とその仲間の薬（鎮痛薬）の話

早津 栄一 医師

ここ数年で、痛みを取る薬（鎮痛薬）のレパートリーは非常に豊富になりました。オピオイドと言われる効果の高い痛み止めにも麻薬指定ではないものが増えたり、あるいは同じオピオイドでも剤形が豊かになりました。昔ながらの薬も痛みに対してはしっかりとした量を使えるようになったものもあります。それらをご紹介します。

アセトアミノフェン（カロナール） ～もう子どものための薬ではありません
アセトアミノフェンに対する私の以前の感覚は「小児に使う解熱鎮痛薬」というものでした。大人に使った場合、確かに安全だけど、全然効かない。それも当り前の話で、非常に少ない量でしか使う事ができなかったのです。しかし2011年に、大人に対しては1日4g（当院採用は50%なので8g）まで使えるようになりました。結果、子供用の薬なんてとんでもない、しっかりと痛みを取れる薬に変わったのです。しかもこの薬は胃を荒らしません。胃が弱い方の痛み止めには第一選択と言えます。尚、肝障害の副作用がありますので、該当される方は注意が必要です。

麻薬ではないオピオイド（トラマール、トラムセット） ～トラマドール
オピオイドは非常に強い鎮痛剤なのですが、ほとんどの薬は麻薬指定されているため、処方する我々も使用する患者さんも抵抗がありました。トラマール Cap やトラムセットといった麻薬ではないオピオイドの出現は、このような我々に対して一つの解決策を与えてくれます。残念ながら麻薬指定されているオピオイドとは違い、有効限界（これ以上飲んでも鎮痛効果が増強しない量）があり、また、1日4回飲む必要がありますが、経済的にリーズナブルで、あるいは便秘などの副作用も小さいです。痛みの強さによっては非常に有力な選択肢になりました。

フェンタニル速報剤の登場 ～早く効くフェンタニル
今年の年末から来年にかけて、早く効くフェンタニルが2剤発表になりました。今までのフェンタニルは早く効くけど針を刺さなければいけない注射か、痛くないけど効果が出るまで最初は1～3日かかる貼り薬のどちらかしかなく、「今痛いのどうかしたいんだけど」と言うときには頭を抱えていました。今後はそれを悩む必要はありません。どちらも単純に飲む薬ではなく、頬の裏に挟む・もしくは・舌の下に置く薬です。

以上の痛み止めの出現によって、今後さらに多くの患者さんの痛みが取れると僕は期待しています。個々の患者さんによって痛み止めの「お勧め」は異なります。外来・入院の主治医と痛み止めの選択についてご相談ください。



(行事)

12月7日、2-1、2-2、3-1 病棟合同でクリスマス会が開かれました。

ボランティアの「ユニット KUN」「劇団冒険」による人形劇が行われ、可愛らしい人形が出てくると患者様から笑顔が見られていました。

マジックショーでは、Mrカトリック、サワリックに扮した職員がティッシュ箱が消えるマジックや、みかんの中から玉子が出てくるマジック等を行うと大きな拍手と歓声があり、面白かったと感想を頂きました。

最後に、患者様と御家族・スタッフでクリスマスソングの合唱をし、楽しいひとときを過ごしました。

又来年も皆さんに喜んで頂ける様に、たくさんの催しを考えております。



診療実績

患者様やご家族様、支援されている医療従事者のみなさんやケアマネジャーさんへ当院緩和ケア病棟の平成24年度の診療実績についてご報告いたします。

全国的に罹患率が高いとされる肺癌・胃癌・大腸癌は当院においても同様で、その他としては膵臓癌・前立腺癌と続き、悪性神経鞘腫の患者様もおられます。

	男性	女性	合計	
肺癌	16	17	33	28.4%
胃癌	13	6	19	16.4%
大腸癌	10	3	13	11.2%
膵臓癌	1	6	7	6.0%
前立腺癌	6	0	6	5.2%
その他	22	16	38	32.8%

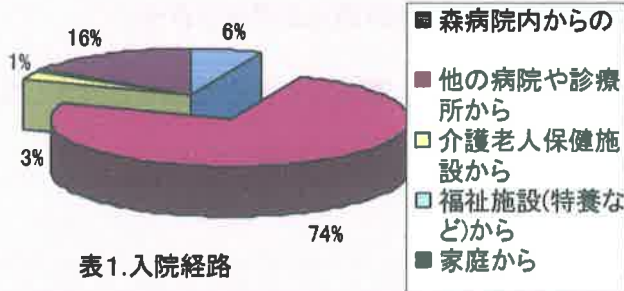


表1.入院経路

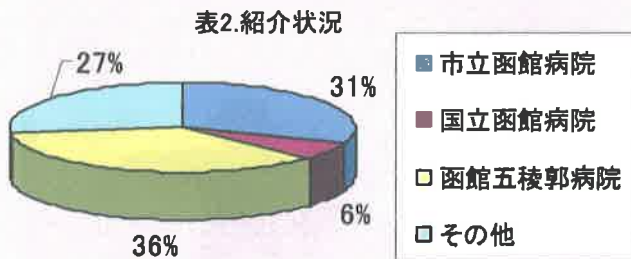


表2.紹介状況

続きまして、入院経路ですが

医療機関からの入院が多く、次に自宅と続いております。医療機関の多くは、がん拠点病院である市立函館病院・国立函館病院・函館五稜郭病院からの紹介が7割を超えており、その他として他病院や地域におけるクリニックと続いております。

地域に根ざした支援と多種多様な苦痛緩和への対応を心がけております。

症状緩和が図れ、自宅へ戻られた患者様もいらっしゃいます。

外来や入院相談、些細なことと思われることであっても、当院医療相談室までご相談いただければと存じます。

医療相談室

外来診療割

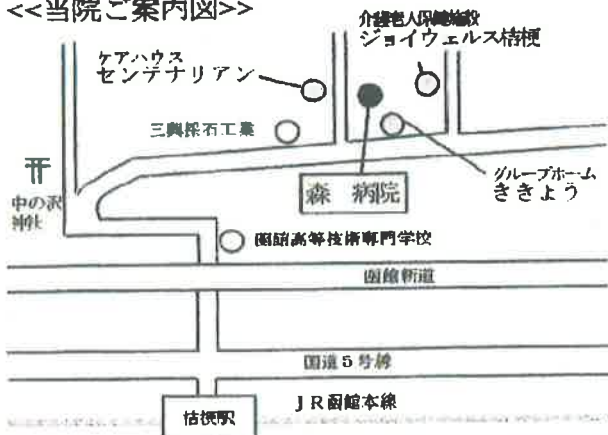
	内科・循環器科・消化器科	
	午前	午後
月	三宅 医師	田中 医師
火	田中 医師	小野寺 医師
水	三宅 医師	森 医師
木	田中 医師	
金	森 医師	小野寺 医師
土	三宅・森 医師	

診療時間

月～金曜日	午前9:00～12:00
	午後1:00～5:00
木・土曜日	午前9:00～12:00
	午後 休 診
日曜・祝祭日	休 診



<<当院ご案内図>>



編集後記

山々も真っ白に衣替えし、益々寒さの厳しい季節となりました。

「しのめ」では、これからも、皆様のお役に立てるような紙面作りを考えておりますので、お気軽にご意見やご感想をお寄せください。お待ちしております。

TEL 0138-47-2222(代)

FAX 0138-47-2200